

別途工事のご案内

設計・据付工事は、当社が責任をもってお引き受けいたします。

下記の項目については、除外工事として見積に含まれておりませんので、

建築工事および電気などの設備工事として施工くださるようお願いいたします。

	テーブルタイプ、フロアタイプ	ユニットタイプ
建築工事	① 昇降路、機械室および機械室床の築造工事。 ② 機械室および出し入れ口の穴開け工事および三方枠取付後の埋め戻し工事。 ③ 機械室点検口の取付工事。(防火戸施錠付) ④ ビット穴掘りおよび防水工事。 ⑤ 機械室点検用タラップまたは脚立の設置工事。 ⑥ 吊りフック(荷重5kN以上)の取付工事。 ⑦ 非停止階がある場合は防火戸の点検口(施錠付)を設定ください。 ⑧ 機械室へのアクセス・点検スペースを確保してください。	① 最下階床土台築造と仕上げおよび上階床穴開けと埋め戻し工事。 ② 昇降路最上部吊りフック(荷重10kN以上)の取付工事。 ③ 塔頂部の固定用部材の取付工事。 ④ 機械室点検口前の点検作業スペースを確保してください。
電気工事	① 機械室制御盤位置までのAC200V3相電源引込工事および一次側端子への接続工事。 ② 機械室制御盤位置までのD種接地線挿入工事および一次側端子への接続工事。 ③ 機械室に点検用照明およびコンセント設置工事。 ④ ビット照明用コンセント設置工事。 ⑤ 機械室換気設備。(機械室温度が40℃を超えないように配慮ください) ⑥ 配電用ブレーカーに漏電ブレーカーを使用する場合には、感度電流100mA以上にするしてください。 ⑦ 分電盤内のリフト用電源側ブレーカーは単独回路にしてください。2台以上設置の場合も1台毎に単独回路にしてください。	① 機械室制御盤位置までのAC200V3相電源引込工事および一次側端子への接続工事。 ② 機械室制御盤位置までのD種接地線挿入工事および一次側端子への接続工事。 ③ 機械室またはその付近に点検用照明およびコンセント設置工事。 ④ 昇降路下部またはその付近に照明用コンセント設置工事。 ⑤ 機械室換気設備。(機械室温度が40℃を超えないように配慮ください) ⑥ 配電用ブレーカーに漏電ブレーカーを使用する場合には、感度電流100mA以上にするしてください。 ⑦ 分電盤内のリフト用電源側ブレーカーは単独回路にしてください。2台以上設置の場合も1台毎に単独回路にしてください。
その他	① 電源電圧の変動は+5%から-10%以内・電圧不均衡率5%以内に保つように電源を設置してください。 ② 機械室と昇降路内温度は0~40℃、湿度は月平均90%・日平均95%を超えないようにしてください。 ③ 機械室と昇降路は有毒ガスや甚だしい塵埃などが入らないようにしてください。 ④ 昇降路内には小荷物専用昇降機以外の配線・配管はしないでください。 ⑤ 出し入れ口は雨風の影響を受ける屋外などに設置しないでください。 ⑥ 厨房など水を使う居室に設置する場合は、出し入れ口から昇降路に水が入らぬよう、出し入れ口部分に傾斜をつけたり、グレーチング設置などの対策を実施ください。 ⑦ ビット下部を居室、通路などに使用する場合は、当該部分に居る人に対する安全対策を実施ください。 ⑧ ビットに水が浸入しないような構造としてください。	① 電源電圧の変動は+5%から-10%以内・電圧不均衡率5%以内に保つように電源を設置してください。 ② 機械室と昇降路内温度は0~40℃、湿度は月平均90%・日平均95%を超えないようにしてください。 ③ 機械室と昇降路は有毒ガスや甚だしい塵埃などが入らないようにしてください。 ④ 昇降路内には小荷物専用昇降機以外の配線・配管はしないでください。 ⑤ 出し入れ口は雨風の影響を受ける屋外などに設置しないでください。

設置上のご注意

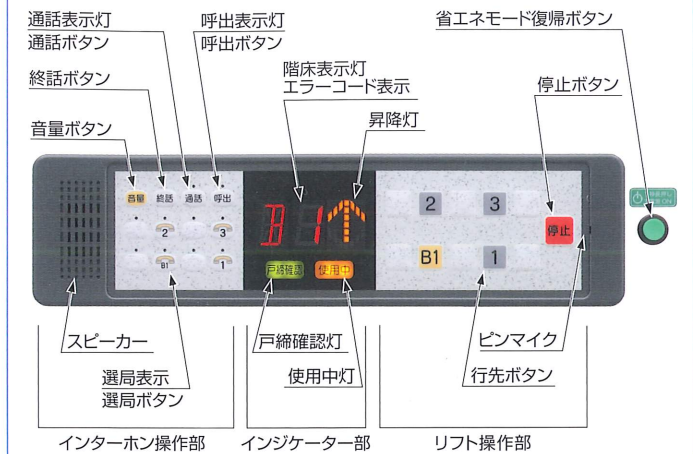
小荷物専用昇降機は、建築基準法、同施行令などに適合していますので、カゴ面積1㎡以下かつ天井高1.2m以下となっています。小荷物専用昇降機の出し入れ口戸は、建築基準法施行令およびJEAS207(日本エレベーター協会標準)に準じた構造とすることで、平成12年建設省告示第1360号に定める遮炎・遮煙性能を有する防火設備とみなされております。なお、これとは別に行政指導が出されている地域があります。当社営業担当にお問い合わせください。

騒音、振動対策について

- (1) 居室ならびに静粛性を求められる部屋のレイアウトは、昇降路や機械室から極力距離を設けてください。近接してレイアウトされる場合でも、居室と昇降路の間に廊下、階段、パイプスペース、電気配線シャフトなどの空間を設けていただくことや、トイレ、ユニットバス、キッチンなどの水回りを昇降路側へ設けていただくことを推奨します。
- (2) 居室騒音は振動に起因する騒音のため、有効な対策は壁・床・天井の防振・制振となります。機械室や昇降路に隣接する居室、近傍で静粛性を求められる居室を対象として、防振・制振などの対策をご検討ください。

操 作 説 明

操作盤各部の働き



(本図は4停止用の模型です)

操作盤各部の働き

① リフト操作部

器具名称	機 能
行先ボタン (自階は黄色)	●かごを呼ぶ時、または 送る時に押します。 ●登録されるとインジケータ部に目的階床名が点滅します。
停止ボタン	●かご走行中、異常を感じたら押します。 ●押している間、エラーコード表示に「E0」が点灯します。
省エネモード 復帰ボタン	●省エネモード状態より「省エネモード復帰ボタン」を押すことで、使用可能状態へ復帰します。

② インジケータ部

器具名称	機 能
昇降灯 (オレンジ)	↑ : かごが上昇していることを示します。 ↓ : かごが下降していることを示します。
階床表示灯 (レッド)	点灯 : かごが停止している階床名を示します。 点滅 : かご昇降中の目的階床名を示します。
エラーコード表示 (レッド)	E0~E9, EA, Eb, Ec : エラーが発生していることを示します。
戸締確認灯 (グリーン)	●出し入れ口扉、かご扉が全て閉まっていることを示します。
使用中灯 (イエロー)	●出し入れ口扉が開いている、または かごが運転中であることを示します。

③ インターホン操作部

器具名称	機 能
選局ボタン (表示灯 : レッド)	●通話したい時、相手の階床名を押します。 ●選局されると、表示灯が点灯します。
呼出ボタン (表示灯 : レッド)	●呼出ボタンを押すと、選局された階床にトレモロ音が鳴動します。(音声で選局された階床先を呼び出すこともできます。) ●表示灯は呼出ボタンを押している間点灯します。
通話ボタン (表示灯 : レッド)	●通話方式をハンズフリーからプレストークに切り換えたい場合に押します。 ●プレストーク通話中は表示灯が点灯します。(ハンズフリー通話中は消灯) ●自局以外でインターホンが使用中の場合は、表示灯が点灯します。
終話ボタン	●通話を終了したい時に押します。
音量ボタン	●被呼出音、受話音、オートアナウンスの音量を、 小→中→大・・・の順番で3段階の調整ができます。
スピーカー	●被呼出音、受話音、オートアナウンスを発音します。 (ユニットタイプのスピーカー部は別ケースで塔取付となります。)
ピンマイク	●音声拾います。 (高感度タイプなので、近づいて話す必要はありません。)

リフト操作部の使用方法

	補 足
①かごの呼び寄せ 自階ボタン(黄色)を押します。	●かご呼び登録を受け付けると、使用中灯が点灯します。 ●かごが自階に向かっていることは、階床表示灯(点滅)と昇降灯(点灯)で確認できます。
②かごの到着	●かごが到着すると、昇降灯が消灯し、「リフトが到着しました」とアナウンスでお知らせします。また、かご扉が自動で開き、使用中灯が消灯します。 ●出し入れ口扉を開けると、再び使用中灯が点灯します。
③荷物の積み込み 出し入れ口扉を手動で開け、荷物を積み込みます。	●かご送り登録を受け付けると、使用中灯が点灯します。 ●かご扉は自動で閉まります。 ●出し入れ口扉とかご扉が全閉すると、戸締確認灯が点灯します。 ●かごのスタートは、目的階の階床表示灯(点滅)と昇降灯(点灯)で確認できます。
④かごの送り 出し入れ口扉を手動で閉め、送り先階の行先ボタンを押します。	●かごの到着直前に「リフトが間もなく到着します」と予告し、到着はチャイムでお知らせします。 ●出し入れ口扉を開けると、再び使用中灯が点灯します。 ●出し入れ口扉を閉めると、かご扉も自動で閉まり、戸締確認灯が点灯します。 ●使用中灯が消灯すると、次の呼び・送りの待機状態になります。
⑤かごの到着	
⑥荷物の受け取り 出し入れ口扉を手動で開け、荷物を静かに取り出します。使用後は出し入れ口扉を手動で閉めます。	

インターホン操作部の使用方法

	補 足
相手を呼び出し通話する時	
①相手の呼び出し 通話相手の階床名の選局ボタンを押し、呼出ボタンを押します。	●複数の相手とは通話できません。 ●選局されると、選局表示灯が点灯します。 ●呼出ボタンを押すと、選局先にトレモロ音が鳴動します。また、音声で呼び出すことも可能です。
②相手の応答を待つ	
③相手と通話する [ハンズフリー通話の場合] ボタン操作無しでそのまま話します。 [プレストーク通話の場合] 通話ボタンを押しながら通話します。	●相手からの応答がありましたら、あとは交互にハンズフリー通話ができます。 ●通話ボタンを押した時点でプレストーク通話に切り換わり、通話表示灯が点灯します。 ※選局階床を変更する場合は、そのまま変更したい選局ボタンを押してください。(順送り機能)
④通話の終了 終話ボタンを押します。	●終話ボタンは呼出側で操作してください。 相手階の呼び・通話ランプが消灯します。

※インターホンにはオートカット機能を装備しています。

	補 足
相手から呼び出された時	
①相手からの呼び出し トレモロ音または音声で呼び掛けがあります。	●呼出表示灯と通話表示灯が点灯します。
②相手に応答する ハンズフリーで音声にて応答してください。	●応答後も、相手と交互にハンズフリー通話できます。(交互ハンズフリー通話)

音量の調整方法

	補 足
【被呼出音の調整】 呼出ボタンを押しながら、音量ボタンを押します。	
【受話音量の調整】 通話ボタンを押しながら、音量ボタンを押します。	●小→中→大の確認音として「トルルル、トルルル」と鳴ります。
【オートアナウンス(メッセージ)の音量調整】 終話ボタンを押しながら、音量ボタンを押します。	●小→中→大の確認音として「ピンポーン」とチャイムが鳴ります。

自動省エネモードについて

使用中灯が消灯後、ある一定時間(※標準設定10分)リフトをご使用にならない場合は、操作盤の表示灯が消灯し、省エネ状態(制御電源OFF状態)になります。この状態からリフトをご使用になる場合は、省エネモード復帰ボタンを長押ししてください。操作盤の表示灯が点灯し、リフトのご使用ができる状態になります。